

目次

一、序	一	1 組織部	九
二、所屬支部一覽表	五	2 調査部	三
三、本會役員氏名	八	3 教育部	三
四、一般會務報告	一〇	4 事業部	六
1 第七回大會記録	一〇	5 共済部	六
2 評議委員會記録	一三	6 評議部	七
3 本會組織變更の經過	一六	7 政治部	七
4 第七回大會決議の執行	二〇	8 青年部	七
5 歳首労働強化反對闘争	四三	六、會計報告	一〇
A 豫算減反對闘争	四四	七、石塚幸次郎君出獄歡迎委員會報告	一〇
B 定員減反對闘争	四五	八、共済組合法人化促進全官業労働組合	一〇
6 年末首繁忙期の闘争	五五	協議會報告	一〇
五、各部報告	五九	附錄 遞友同志會發展經過	一一

序

我が遞友同志會は本年四月、日本労働總同盟を脱退した。今日茲に迎ふる第八回大會は總同盟脱退后はじめての大會である。顧れば、過去七ケ年間、我が遞友同志會が遞信部内唯一の労働組合として、頑迷固陋なる反動的官僚の抑壓、干渉と闘ひ、全遞信従事員の奴隸的境遇解放の爲めに捧げた多くの犠牲は、今や、我等のみ持つ誇りとして、確固たる組合陣容の上に輝きを増してゐる。即ち遞信當局は、大正十四年九月我が遞友同志會が創立されるや、本會の一大發展を怖れて、従業員會規程の發布、蓮沼門三の主宰する修養團等を利用して、御用團體政策に依る本會進出の妨害を策したのであるが、健實なる我等の運動方針と、潮の如き部内従事員の社會的地位自覺の大勢は、遂に遞信當局も、其の効果なきを悟らざるを得なくなつたのである。我等の陣營も又幾多の試練を経て、戦線は全國的に擴大進展し、遞信部内凡ゆる方面に組織領域は擴充された。この尊き經驗と固き確信の上に、組織を變更し、